

開講科目名 / Course	地域看護学実習（3年次開講）
ターム・学期 / Term・Semester	2026年度 / Academic Year 2 学期 / Second
開講区分 / semester offered	2 学期 / Second
単位数 / Credits	1.0
学年 / Year	3
主担当教員 / Main Instructor	川南 公代
担当教員名 / Instructor	小野 治子、川南 公代、持田 恵理、首藤 佐織、高木 優衣
必修・選択 / compulsory subject	必修
講義形態 / Class Type	実習
授業回数	20
科目の目的と概要	第4段階の地域看護学実習は、3年次の第3段階実習終了後に行われる。第3段階の実習との学びを統合し、地域における看護職（保健師・助産師・看護師）としての活動の場の広がりや、人々の生活の営みと健康との関連等を学び、人間理解の深まりと視野の拡大をめざす。看護の広がりを実感する実習として臨む。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習地域（市町村）の概況と生活環境についての情報を基に、地域の特徴と健康との関連を説明できる。 2. 保健所または市町村保健部門の各種保健事業への参加を通して、看護職（保健師・助産師・看護師）が行っている主な活動を説明できる。 3. 看護職（保健師・助産師・看護師）が行う支援の対象が、様々なライフステージや健康レベルの人々であることを説明できる。 4. 実習を通して、地域において求められる看護職（保健師・助産師・看護師）の役割を考察できる。 5. 地域看護の場において看護倫理を基に適切に行動できる。
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能、4.連携協働・リーダーシップ、5.地域性・国際性、6.探究心と創造力
授業計画	<p>実習期間：1週間（2026年11月24日～11月27日・11月30日）</p> <p>実習時間：8:30～17:15（実習時間は原則として各実習施設の勤務時間）</p> <p>実習場所：大分県内の県保健所、大分市保健所、市町村保健部門のいずれか1施設</p> <p>実習方法：実習場所における地域看護の対象となる人々への看護活動を見学や体験をする。</p> <p>カンファレンス：実習期間中は、学生主体で日々のカンファレンスを行い、学びを共有する。実習指導者から助言を受け、学びの内容を深める。</p> <p>ディスカッション：原則、実習最終日に実施する。実習中に捉えた情報を追加した実習の概要シート（模造紙）をもとに、実習地の説明をする。実習での体験及び学びのレポートをもとに、テーマを決めてディスカッションを行い、学びを深める。</p> <p>実習終了後は、既習の学び、実習中の学び、学内での学びを統合し、Finalレポートを作成し提出する。</p> <p>指導体制：担当教員は巡回型で指導を行う。</p>
その他の授業の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の到達目標を達成するために、実習前に、自己の実習課題を作成し提出する（実習前に実習施設へ送付する）。 ・実習中は、地域生活支援論で作成した「実習地の概要シート（模造紙）」に追加情報を記入し、実習施設のディスカッションにて、実習地の説明をする。
時間外学修	<p>事前学修（実習前）：提出した自己の実習課題を再確認し、実習に備える。実習中の体験予定の看護活動については、既習の関連する内容を復習して、実習に臨む（2h）。</p> <p>事後学修（実習中・実習後）：実習中は日々の体験内容を振り返り、毎日の学びをまとめる。さらに、ディスカッションの準備として、学びのレポートを作成する。実習後は、実習のすべてを振り返り学びを統合し、Finalレポートを作成する（2h）。</p>
評価方法と評価割合	<p>原則、実習オリエンテーション、臨地実習、学内のまとめ等実習に関する内容に、全て出席とする。</p> <p>実習内容・実習態度（日々のカンファレンス/ディスカッション、学内のまとめの参加度も含む）：40%</p> <p>実習記録（自己の実習課題・実習地の概要シート・Dailyレポート、学びのレポート）：50%</p> <p>Finalレポート：10%</p>
テキスト	

参考書	地域看護学概論、地域生活支援論で活用したテキスト等を活用する。	
履修する上で必要な要件	地域看護学概論、地域生活支援論の単位を修得していること。	
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	川南公代：行政の保健師 小野治子：高校・支援学校の養護教諭 首藤佐織：行政の保健師 高木優衣：行政の保健師 持田恵理：行政の保健師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	有
	内容	実習指導者：保健所および市町村保健部門で働く保健師
実務経験をいかした教育内容	エビデンスに基づいた保健師活動を実践し、その理論と確かな技術を学生に指導する。実習指導者と実習目標の達成のために、密に連携し協働する。	